

# G3 のツイッター その 13

## 烈剛河内 竹井 保満

冒頭、腹立たしい話で申し訳ありません。

第 21 回世界マスターズ陸上大会が 8 月 4 日からフランスのリヨン市で開催されます。私も出場するつもりで申込書を入手しました。申込先が旅行社になって居り、電話をかけましたら、年齢を聞かれ、87 歳だと答えると、高齢者には、付添がいるとの事です。年寄りとはいえ、飛んだり跳ねたりできる集まりです。押し問答をしましたが、埒があきません。

全日本マスターズ本部に電話を入れましたが、これも決まった事だからの一点張り、ひどい話ではないですか、最高の世界大会を旅行会社に丸投げして、全てを任せるとは、旅費も概算で、私と付添とで、110 万円、老妻を預けるのに 10 万円、マスターズは年寄りの大金持ちの道楽でしょうか、常日頃から健康寿命を延ばすように運動を勧誘している私にとっては誠に心外です。

政府も、団塊の世代を目標に健康寿命を延ばそうと旗を振り始め、NHK 番組でも、ポケ防止の頭の体操や、年寄りに合った体操を奨励しています。

私も老妻に、クイズや健康体操をやらせましたが三日坊主ならぬ一日坊主で、認知症に成ってしまいました。毎日の介護は大変ですが、筑波大学の村上和雄名誉教授は、傷ついた脳が自然治癒することはないという通説は誤りで、脳神経細胞は環境に応じて再配線でき、運動や、精神的活動、社会的つながりが神経細胞の発展を促すといった事実が判明したと言っておられ、研究に期待しています。

脳の病気も色々あるみたいで、キム・ピーク氏は SAVAN 症候群という小脳に障害を持ち、要介護のアメリカ人（1951 年生まれ）で、9000 冊の本を丸暗記で来て、生年月日を聞いただけで曜日を答えたそうです。映画レインマンにもなったので有名です。

日本では 7 歳で失明しながらも、群書類従、続群書類従など約 1900 冊を記憶編纂した埒保己一だと思いますが、キム・ピークは及びません。頭の働きはまだまだ未知だそうです。

ヒトゲノムの解析は 2003 年に終わりましたが、それぞれの働きが分かってきたのは、まだ、10% ぐらいだそうです。でも、解明は日進月歩の時代から日々刻々に変わっています。

認知症も健康であれば、未来に希望が燃えます。

認知症の鬱陶しい話で恐縮ですが、嫌がる認知症の老妻を宥めすかして、3 日間ショートステイで施設に預け、息抜きを兼ねて、5 月 14 日から始まる全日本マスターズ・ウェイトリフティング大会に参加します。

M85 62 キロ級は一人だけなので、自分との戦いでなく、自分だけの戦いになります。